

不祥事根絶に向けた取り組み

水戸市立稲荷第一小学校

教職員による不祥事は、学校教育への信頼を著しく低下させる原因となっており、何としても根絶しなければなりません。健全な学校教育は、生徒、保護者及び地域の皆様の信用・信頼で成り立つものであり安心安全な学校づくりは教育活動全般の基盤でもあります。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務遂行のために、教職員の意識改革と方策について、下記のように取り組んでおります。

記

1 研修の充実

不祥事根絶をテーマとした教職員の企画立案による定期的なボトムアップ型研修及び指導と正しい理解を目指したトップダウン型研修及び指導を組み合わせて実施しています。

- ・不祥事は、わいせつ、飲酒運転、情報漏洩、セクハラ、体罰、公金の不適切な処理、交通事故等多岐にわたることを認識して研修を実施しています。
- ・校内研修では、グループ討議や講義、ロールプレイング等の手法を取り入れるなど具体的な防止策を互いに提案しながら、不祥事を自分事として捉え、話し合う機会としています。
- ・校内コンプライアンス委員会を中心とした年間計画を作成し、定期的実施しています。

2 定期的な確認と点検

不祥事防止のためのチェックリストを作成し、教職員が定期的に点検をしています。

- ・不祥事の原因は何か、なぜ起きてしまうのか、自分の行動や意識に問題はないか、等を明確に把握する必要があります。
- ・教職員が自分自身でチェックし、自己啓発することが重要であることから、チェックリストによって定期的に点検を行っています。

3 自分事として捉えることができるような事例の確認と共有

不祥事関連の通知や記事を活用し、様々な事例を教職員全体で共有しています。

- ・不祥事の内容と対象教職員の処分内容等について、県教委や市教委からの通知文や新聞記事等から確認します。
- ・教職員が自分自身や自校の問題に置き換えながらリスクを考え、具体的な防止策を職員会議や研修会で話し合っています。

4 教職員への指導や支援

管理職による教職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。

- ・教職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の要因とならないように、管理職が教員評価面談や日常の面談を通して解決法を助言したり相談にのったりしながらきめ細かに教職員を支援しています。
- ・悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しの良い職場環境づくりに努めています。
- ・メンタルヘルスに関する研修や相談などにより、セルフケア・ラインケアの充実を図り、早期発見・対応を行っています。

5 学校の信用・信頼を高める取組

教職員の人権意識の高揚のために、定期的な研修と意識確認を行っています。

- ・学校の信用・信頼を高めるためには、不適切な指導の防止研修はもとより、一人一人の児童を大切に、確かな人権意識をもって適切に対応することが重要です。
- ・人権意識高揚のための研修やチェックリストの活用を日常的に行い、温かい人間関係づくりに努めてまいります。

稲荷第一小学校の教職員一人一人が、自校から不祥事を出さないという強い決意のもとで、自覚と努力を継続しながら教職員一丸となって不祥事根絶に取り組んでまいります。